

2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		勤労者総合福祉センター整備事業					
事業の概要		<p>本施設は、町民及び中小企業に雇用される勤労者の福祉の増進を図るとともに、町民相互の交流を深め、豊かな住みよいまちづくりと勤労者の雇用の安定に資するため建てられた施設で、各種団体、企業の会合や研修会はもちろんのこと、多目的ホール(300人収容可能)では、講演会や式典等に幅広く利用いただいている。</p> <p>本施設の受水層から送水する水は、トイレ、給湯室、自販機飲料作成等の用途で使用しているが、受水槽の入水をコントロールするボールタップの接続部分に錆びが発生しており、改修が必要である。</p> <p>勤労者総合福祉センター受水槽改修工事等</p>					
		事業期間	平成22年9月30日～平成22年10月31日				
		総事業費	561	本年度事業費	561	交付金交付額	280
事業評価	事業の必要性	本施設は、多目的ホール(300人収容可能)等を有し、各種団体、企業の会合や研修会、講演会や式典等に幅広く利用されていることから、施設を安心・安全に維持し運営することが必須となっている。					
	事業の有効性	本施設は各種行事活動の場として広く活用されているが、今後も広く活用されるために、良好な維持管理を行うことにより、利用者の安全性・快適性の向上に繋がる。					
	事業の効率性	経年劣化による不具合を早期是正することにより、安定的に水の供給を行うことができ、町民相互の交流の場として利用者が安心して施設を利用できるようになる。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		<p>3 リーディング・モデル成果</p> <p>本施設の安全・快適性を向上させることで、町民及び中小企業に雇用される勤労者の福祉の増進が図られ、子どもから高齢者まで、いきいきと社会参加できる「安心と生きがいのある福祉のまちづくり」に資する。</p>					
<p>4 広域的波及成果</p> <p>施設を安心・安全に維持することにより、町内外の住民相互の交流を深める場を提供し、健康で心豊かな住みよいまちづくりに資するものである。</p>							
<p>5 行財政改革に資する成果</p> <p>施設整備を適切な時期に行うことで、長寿命化を図る。</p>							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。